

滝議第0529003号

令和5年5月29日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

総務教育常任委員会

委員長 遠藤 秀鬼

総務教育常任委員会所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を次のとおり終了したので会議規則第77条に基づき報告します。

記

1 調査事件

学校教育施設等の整備と今後の活用について

2 調査結果

別紙のとおり

1 調査事項

学校教育施設等の整備と今後の活用について

2 調査理由及びその目的

児童生徒が良好な教育環境で学校生活を送ることが出来ているかを検証し、今後の施設の活用について調査を行うものである。

3 総務教育常任委員会委員

委員長 遠藤 秀鬼

副委員長 藤原 治

委員 田中 亜弓、日向 裕子、川口 清之、小田島 清美、稲荷場 裕

4 調査内容

(1) 調査経過（関連資料は別添）

開催日等	内容
令和3年10月28日（木）	【委員会内協議】 <協議の概要> 調査項目設定のための協議を行い、委員会としての視点の確認、調査スケジュールの確認を行った。
令和3年11月9日（火）	【委員会内協議】 <協議の概要> 調査のスケジュールを協議し、所管事務調査項目設定シート内容の協議を行った。
令和3年11月22日（月）	【委員会内協議】 <協議の概要> 調査のスケジュールを協議し、所管事務調査項目設定シートを作成した。
令和3年12月10日（金）	【委員会内協議】 <協議の概要> 担当課への事務調査の必要性を確認し、委員会で事業担当課より内容聴取を行うことを決定した。

開催日等	内容
令和3年12月15日（水）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>担当課への聴取内容の協議を行った。</p>
令和4年1月11日（火）	<p>【担当課への事務調査】</p> <p><調査の目的></p> <p>調査項目の現状と課題を確認することを目的に、担当課に対し説明聴取を行った。</p> <p><調査の内容></p> <p>（教育総務課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育施設等の整備について ・学校教育施設等からの修繕要望について <p>（生涯学習スポーツ課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設開放について
令和4年1月19日（水）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>学校教育現場での実態調査の必要性を確認し、委員会で現地調査を行うことを決定した。</p>
令和4年3月24日（木）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>学校教育現場での実態調査時の視点、調査スケジュールの協議を行った。</p>
令和4年6月28日（火）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>学校教育現場での実態調査時の視点、調査スケジュールの協議を行った。</p>
令和4年7月19日（火）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>学校教育現場での実態調査時の順路、当日スケジュールの確認を行った。</p>

開催日等	内容
令和4年8月3日（水）	<p>【現地調査】</p> <p><調査の目的></p> <p>学校教育施設等からの修繕要望箇所を確認し、教育員会の対応状況及び児童・生徒の教育環境の実態を把握するため。</p> <p><調査対象></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 篠木小学校 2. 滝沢南中学校 3. 鶉飼小学校 4. 滝沢小学校 5. 滝沢東小学校 6. 滝沢第二中学校
令和4年8月4日（木）	<p>【現地調査】</p> <p><調査の目的></p> <p>学校教育施設等からの修繕要望箇所を確認し、教育員会の対応状況及び児童・生徒の教育環境の実態を把握するため。</p> <p><調査対象></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 姥屋敷小中学校 2. 滝沢第二小学校 3. 滝沢中学校 4. 滝沢中央小学校 5. 柳沢小中学校 6. 一本木中学校 7. 一本木小学校
令和4年8月5日（金）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>現地調査の振り返りを行い、学校教育環境の実態と課題は「各小中学校からの修繕要望箇所が長期に亘って改善されていない」ことであると委員間で共有した。</p>

開催日等	内容
令和4年11月15日（火）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>現地調査で確認された状況を踏まえて、教育施設の修繕や維持管理方法の先進事例の調査の必要性を確認し、先進的取り組みを行っている自治体の視察を行うことを決定した。</p>
令和4年12月5日（月）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>先進事例の視察を静岡県御殿場市と埼玉県鴻巣市へ依頼することと決定した。</p>
令和4年12月15日（木）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>視察先への具体的質問事項の協議を行った。</p>
令和4年12月20日（木）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>視察先への具体的質問事項を確認し、事前に送付することと決定した。</p>
令和5年1月17日（火）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>視察先への具体的質問事項を確認し、事前に送付することと決定した。</p>

開催日等	内容
令和5年1月23日（月） ～令和5年1月24日（火）	<p>【行政視察】</p> <p><視察の目的></p> <p>「校舎改築事例」と「包括施設管理」の実績があり、先進的な取り組みを行っている自治体への行政視察を行った。</p> <p><視察先及び内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県御殿場市 <p>『御殿場市における校舎改築事例』について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県鴻巣市 <p>『鴻巣市包括施設管理業務』について</p>
令和5年2月2日（木）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>各委員が作成した行政視察のまとめを確認した。</p>
令和5年4月25日（火）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>報告書内容の構成、方向性及びスケジュールについて協議を行った。</p>
令和5年5月11日（木）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>市内小中学校現地調査内容及び現状を確認した。報告書内容について協議を行った。</p>
令和5年5月19日（金）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>報告書内容について協議を行った。</p>
令和5年5月26日（金）	<p>【委員会内協議】</p> <p><協議の概要></p> <p>報告書内容について協議を行った。</p>

(2) 特記事項

ア 市内小中学校現地調査【令和4年8月3日（水）、8月4日（木）】

令和4年8月3日（水）

行先：篠木小学校、滝沢南中学校、鶴飼小学校、滝沢小学校、滝沢東小学校、
滝沢第二中学校

令和4年8月4日（木）

行先：姥屋敷小中学校、滝沢第二小学校、滝沢中学校、滝沢中央小学校、
柳沢小中学校、一本木中学校、一本木小学校

総務教育常任委員会では、市内小中学校から施設設備等修繕要望のあった事項について現状把握するため、市内全小中学校の現地調査を実施した。小学校からは103か所、中学校からは54か所の修繕要望が出されていた。現地調査にあたっては、教育委員会の説明とともに、学校施設管理者、事務職員、用務員にも対応いただき状況について詳しく聞くことができた。要望箇所は、軽微なものから大規模改修に相当するものも含まれており、学校側が希望する修繕・改修の順位付けがされているが、早急に対応すべき修繕・改修箇所が数多く見られた。築年数の経過とともに修繕箇所も多い。しかしながら、児童生徒の心と体の健やかな成長と安全安心して学校生活を過ごすためにも、速やかに対応することが望まれる。

特に修繕が急がれる箇所が、以下の要望箇所であると把握した。

- ・フェンスの腐食及び破損

穴の開いている箇所、ネットの下の部分が固定されていない箇所、支柱が腐食している箇所など多くの学校から要望が出されていたとおりの状況であった。

- ・非常階段

非常階段に亀裂や壁面の剥がれが散見された。非常時の階段として役割をなしていない。

- ・壁の腐食や天井の穴、ドアの不具合等

児童生徒が学習及び生活していく上で整備された校舎は必要不可欠であり、破損箇所や不具合は早急に対応すべきものとする。

- ・体育館通路、校庭への段差の解消

児童生徒が支障なく移動ができるようバリアフリー化は早急に対応すべきとする。

- ・玄関たたきの破損等

昇降口のタイルの剥がれや階段部分の破損、下足箱の老朽化、マンホールの浮き上がり等安全な生活に支障があると見受けられた。

多くの要望が毎年提出されているが、十分な予算が確保されていないため、要望に対して応えられない現状である。今後の改修について、予算の確保及び限られた予算を最大限に生かした修繕の検討が必要であり、さらに、大規模改修においても、早急に予算調整を行い、既存計画の見直しを実施する必要があると考える。

イ 行政視察

(ア) 静岡県御殿場市【令和5年1月23日（月）】

静岡県御殿場市（以下「御殿場市」という。）は、富士山の麓に位置し、市内に自衛隊駐屯地を構えるなど、当市と類似した環境であると推察されたため、学校教育施設の改善のための手法や財源などが参考になると考え、視察先とした。

御殿場市は、平成20年度から令和2年度までに14の学校教育施設の改築や大規模改修、立て替えなどを実施しており、現在も2件について、設計又は施工中であるなど、積極的に学校教育施設の整備を進めている。

御殿場市は、本市と同じく昭和40年代から50年代に建築された校舎が多く、本市と同様に学校の老朽化が進み、大きな課題と捉えられていた。改築等に当たっては、学校ごとに基本コンセプトを設定し、校舎には県産木材がふんだんに使われており、木の温もりを通して地域への愛着を育めるとともに、最先端のICTを活用した教材を取り入れ、校舎での諸活動のみならず、教育環境としても児童生徒のためを最優先に考え、整備を促進していた。さらに、少子高齢化を見据え地域住民との交流を大切にした生涯学習の場づくりや、環境への負荷低減に配慮した施設の整備を心掛けていた。御殿場市には数名の技術職員が配置されていることで技術継承が可能となっており、修繕や改築等の際には早期回復や経費削減につながっている。

財源については、文部科学省の交付金を活用しつつも、先述した自衛隊駐屯地へ市有地を貸し出していること等による歳入（国庫支出金等）が潤沢にあり、さらに、昭和の大合併前の町村を単位とした財産区が設けられ、各地区の財産区繰入金（特定財源）も学校教育施設の整備の事業費に充てられるなど、本市の予算規模と比較すると単純に参考とすることは難しいと考えられる。

(イ) 埼玉県鴻巣市【令和5年1月24日（火）】

埼玉県鴻巣市（以下「鴻巣市」という。）は、近年多くの自治体で導入され始めた、学校教育施設を含む公共施設の包括的維持管理業務の民間委託を実施している自治体である。

従来、施設の管理状態や老朽化情報は施設所管課が個別に管理していたが、管理水準のばらつきや専門職員の不足が課題だった。この課題解決のために、専門的な知識やノウハウを持っている民間事業者と連携、地元事業者を組み入れ、管理水準の統一化、施設の安全性向上、事務の効率化などを図り、より質の高く柔軟な事業運用や持続可能な施設管理運営を目指し「鴻巣市包括施設管理業務」を令和4年度より開始した。

鴻巣市の委託形態は、受託企業に一定の予算執行の権限をあたえ、130万円以下の小規模修繕は受託企業の判断により市の入札等を経ずに発注されている。

また、地元企業へ再委託することを前提に、仕様により地元事業者等を積極的に活用する条件を付与している。

これらによって、学校教育施設を含む公共施設は、故障箇所等が著しく劣化し、多額の費用が発生する事態が生じる前に対応が可能となっている。また、地元企業への発注も増加するなど、施設の適正な維持管理とともに、地域経済の循環、産業

の振興にも寄与しているものと考えられる。

学校教育施設を含む公共施設の包括的維持管理業務の民間委託は、本市にとっても有効的な施策と考えられるが、近隣に制度のノウハウを熟知し受託できる企業があるか、本市で実施することのメリットやデメリットなどを十分に考慮し、判断する必要があると考えられる。

5 考察

本市の学校教育施設環境は、当局調査及び市内全小中学校を視察した結果、施設の老朽化が進み、改修等が追い付いていない状況が続いているものと考えられる。その原因について、先進的に取り組んでいる他市の状況を視察・調査した結果、様々な要因が考えられたが、その中で以下3つの点に注目した。

1つ目が、改修にかかわる組織・人員体制である。この要因としては、技術職員、特に採用が思うように進んでいない建築技術職員の配置、また、学校側（学校施設管理者、事務職員、用務員）と教育委員会側との修繕対応の仕組み・連携にも課題があるものとする。

2つ目が、管理業務委託・発注等の仕組みである。民間企業（主に地元企業）のノウハウを活用する仕組みが必要とする。

3つ目が財源である。過去数年間、財政構造改革を行うなど市の財政のひっ迫が施設の改修等に影響していたことは間違いないものとする。

以上を考慮した上で、本市における学校教育施設等の整備促進のためには、大別して以下3つの取組が重点課題であるとする。

1 組織・人員体制について

本市担当課への調査及び行政視察した御殿場市及び鴻巣市との比較を踏まえた結果、御殿場市では、教育委員会に管理職から担当までの豊富な専門的技術職員が配置されていたが、本市の現在の状況では難しいと考えられる。

一方、鴻巣市は、施設の老朽化・技術職員の不足・財源不足・縦割り体制といった課題は、本市と同様であった。しかし、鴻巣市ではその解決策として、公共施設マネジメントの推進及び調整役となる「財務部資産管理課（企画・管財・建築修繕）」を、庁内横断的検討ワーキンググループを経て新設させた事例を確認できた。この事例はまさに本市にとっても望ましい体制・組織であることから、この事例を参考に、本市に見合った類似の体制づくりが必要である。

2 管理業務（委託・発注等の仕組み）について

行政視察において、最も参考とすべき内容が鴻巣市の事例であった。

その内容は『包括施設管理業務委託』である。資産管理課が、学校以外も含め指定管理対象施設以外の主な公共施設の管理業務を一括して行っており、「包括受注者」と契約して総合的に管理するとともに地元企業に再委託することを前提に実施していることである。また、鴻巣市では『包括施設管理システム』を採用しており、システム内で対応状況（様子見・見積依頼中・日程調整中等）を一目化、さらに「市施設所

管課と包括事業者」並びに「包括事業者と協力事業者」にて月1回の定例会を開催する等、適正な管理及びチェック体制が構築されていた。もちろん、全ての維持管理業務等を包括受注者が受託するものではないとされているが、本市においても同様の包括的な業務委託が必要である。

3 財源の確保と基金の創設について

行政視察した御殿場市は交付税の不交付団体の自治体であり、更には財産区ごとに資金（国庫支出金や財産区からの繰入金）を有する公共団体であるため、施設の大規模改修などが円滑に進められていた。本市とは財政状況が違うものの、長寿命化のための計画的な進め方は大いに参考にすべきである。

これまでも、市側は、大規模改修（校舎、放送設備、プール、ネットフェンス等）に関し、防衛省や文部科学省の補助金等を模索し、予算・事業化を進めてきてはいるものの、必要な大規模改修等の方針が示されている「滝沢市公共施設等総合管理計画個別施設計画第一期【学校教育施設】」が不十分であるとともに、小規模修繕の対応も不十分である。その要因は、上記2点の課題以外に財源の問題が大きく影響していると考えられる。

そのため、公共施設の長寿命化・小規模な修繕（鍵、ドア、室内の壁、昇降口やグラウンドへの階段等）への対応を目的とし、学校教育施設のみならず全公共施設に対応する基金の創設が必要であり、その効果として、横断的な予算運用等が可能となると考察する。

総務教育常任委員会
所管事務調査
【関連資料】

- No. 1 静岡県御殿場市視察関係資料
- No. 2 埼玉県鴻巣市視察関係資料
- No. 3 市教育委員会関係資料

事前
質問

視察における質問事項（事前質問）

質疑
応答質問
回答

事前質問に対する回答

■ 調査事項

『学校教育施設等の整備と今後の活用について』

■ 御殿場市における校舎改築事例について

改築前後の校舎の維持管理方法

改築後の経過年数により、みえる課題・対応策



1

Q 1

『御殿場市公共施設等総合管理計画』との連携・整合性は図られているか？

A 1

学校施設の建替えや改修には、多額な費用を要するほか、建設年次に応じて年度ごとに大きく変動するため、事業の年度間調整等により費用の平準化を図っています。また、計画期間が長期にわたることから、必要に応じて適宜見直しを行います。

■ 実績の経緯は？

昭和40～50年代にかけて、多くの小中学校が建設されました。その建物の耐震化による改築や耐震補強工事、経年劣化による大規模改修工事を計画的かつ強力に推進する必要性がありました。

■ 計画から完成までのスケジュールは？

改築は、設計・仮設校舎設置で2～3年、建設工事は1年半～2年、引越し・備品納入・既設解体・周辺整備などで半年、概ね4～5年のスケジュールをローテーションしています。なお、耐震補強・大規模改修工事についても、概ね同様の期間です。



2

Q 2

短期間で複数の改築工事を実施しているが、改築工事に関する**財源の確保**は？

A 2

国の学校施設環境改善交付金の『**国庫補助**』、学校施設整備を計画的に推進するための『**特定財源（各地区の財産区繰入金）**』及び『**市債**』を活用しています。

■ 財政担当課との協議状況は？

教育環境の向上に引き続き取り組んでいくため、『**事業規模の適正化**』及び『**計画的な財源確保**』を図り、財政担当課と協議・合意しています。

■ 具体的財源は？

各地区の財産区繰入金を的確に盛り込み、市の財政負担の軽減を図っています。



3

よくある
質問

財産区とは？

回答
します

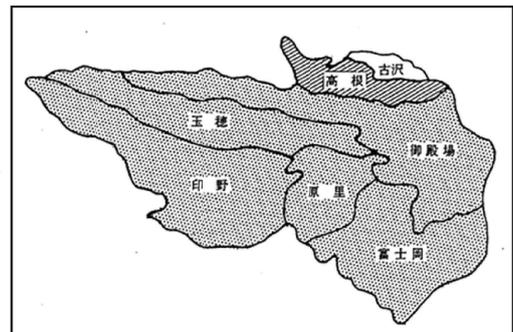
御殿場市は昭和30年2月11日に町村合併促進法に基づき、御殿場町、富士岡村、原里村、玉穂村、印野村の1町4村が合併。市政施行と同時にそれぞれの町村有の基本財産をもとにした財産区を、『**御殿場**』『**原里**』『**玉穂**』『**印野**』の4地区に設置しました。さらに昭和31年1月1日に高根村を御殿場市に編入合併し、『**高根**』財産区を設置しました。

■ 財産区の主な収入

5地区の財産区全体の財産は、約4,418haの土地（東京ドーム940個分）で、このうちの約2,817ha（東京ドーム600個分）を**東富士演習場用地**として国（防衛省）に貸し付けています。この賃貸料が各財産区の主な収入です。

■ 財産区繰入金の主な使途内容

5地区の財産区が、市の一般会計に繰り出し、各地区の**学校施設整備事業**や**道路整備事業**など、市の各種事業に支出されています。



4

Q 3

改築前と改築後の維持管理、修繕を比較しての相違点等は？

A 3

改築前、改築後ともに、設備の**重要度**や**緊急度**等を踏まえ、維持管理・修繕に努めています。また、改築には莫大な費用がかかることは明白ですが、修繕経費については、従前の**4分の1程度**に節減しています。

■民間のノウハウ活用は？

『漏水調査』や『漏電調査』は、高いスキルや経験を有するため、専門企業のノウハウを活用し、現場調査等を委託しています。

■地元企業に優先的に依頼？

『地元企業』と『専門企業』に区分、または併用して、**効率的な修繕依頼**を行い、施設機能の向上を図るとともに、**早期回復**に努めています。



5

Q 4

校舎以外の付帯施設の改築、修繕は？

A 4

児童生徒等が安全で安心して利用できる教育環境とするため、『積極的』かつ『計画的』に推進しています。

■体育館は？

災害時における**防災拠点・避難所施設**として使用されますので、改築・大規模改修の際は、省エネルギー機器（LED照明）の設置など、地球環境の保全に努めています。

■プールは？

経年に伴い腐食するおそれのある設備中心に**機器の更新・修繕**を適宜行います。また、将来の児童等の減少予測に基づき、更新時期に併せて、プールの在り方を検討します。

■フェンスは？

劣化状況を把握し、**適切な時期**での更新・修繕を着実に進めます。



6

よくある
質問

『体育館』『プール』の実績は？

回答
します

■体育館の改築実績

平成22～23年度 南中屋内運動場改築（危険改築・武道場）
平成25～26年度 玉穂小屋内運動場改築（老朽改築）
令和3～4年度 西中屋内運動場改築（老朽改築）**工事中**

■体育館の大規模改修実績

平成26～27年度 富士岡小屋内運動場大規模改造（補強・老朽）
平成27年度 神山小屋内運動場大規模改造（補強・老朽）
平成30～令和元年度 高根中屋内運動場大規模改造（老朽）

■プールの改築実績

平成25～26年度 高根小プール改築（屋外一般）
平成27～28年度 御殿場小プール改築（屋外一般）
平成28年度 朝日小プール改築（屋外一般）



7

Q 5

少子高齢化が加速している中、どのような将来像を想定したか？

A 5

学校施設や設備の老朽化が進行し、時代とともに変化する学校教育ニーズの対応や児童生徒の教育環境の向上を図るため、改築・大規模改修を推進してきました。今後も次々と更新時期が到来し、それに伴う**財政需要の増加**が見込まれます。また、**少子化の加速**によって、各学校の児童生徒数の変化や新たな教育ニーズへの対応など**総合的に検証**するとともに、学校の『統合』や『複合化』、『減築』や『用途変更・廃止』などの**ダウンサイジング**を行い、各学校の**施設規模の最適化**を図ります。

■統廃合の可能性は？

各学校の**児童生徒数のバランス**を見極めながら、市内6地区のそれぞれの『歴史』や『思い』があることから、市民生活への影響を十分考慮しつつ、必要に応じて慎重に対応を考えていきます。



8

Q 6

改築における特筆すべき項目は？

A 6

建築職員を中心に改築・大規模改修事業の総合マネジメントを实践し、計画・設計・施工・維持管理・予算管理・国庫補助申請など行い、常に事業の進捗状況を把握し、関係部署と横断的に連携し、情報共有と連絡調整等を行い、事業のフォローアップに取り組む体制を構築しています。

■ ICT対応は？

大型提示装置やタブレットの活用頻度を高めるため、教材提示や校内放送配信に対応した教育ICTシステムを採用しています。システムの中核となるメディアボックス（みらいスクールステーション）を大型提示装置につなぐことで、デジタル教材の提示やライブ放送、デジタルサイネージを可能とした校内LAN設備としています。また、別途セットトップボックス（AppleTV）の接続により、タブレット（iPad LTE/4Gモデル）のミラーリングが容易にできるよう拡張整備を進めています。



9

Q 6

改築における特筆すべき項目は？ その2

A 6

■ 省エネは？

再生可能エネルギーの導入（太陽光発電）や省エネルギー機器の採用（LED照明）さらに、施設におけるバリアフリー化（トイレ・エレベーター設置）に努めています。

■ 木材の使用は？

地産地消の趣旨を踏まえ、児童生徒が日常的に使用する机・いすや校舎内の腰壁など適材適所に木材を使い、市産材・県産材の木材利用の促進に努めています。

■ 耐震化等の災害対応は？

災害に強いまちづくりと市民の安全安心を確保するため、学校施設の耐震化を積極的に進めてきました。耐震化に際しては、トイレ改修も併せて行い、トイレの洋式化に努めてきました。また、下水道区域には、災害時の仮設トイレの確保としてマンホールトイレの設置に努めています。



10

Q 6

改築における**特筆すべき項目**は？ その3

A 6

■**太陽光発電の設置状況** 令和3年5月1日現在
 全国平均34.1% **御殿場市75%** (12校 40.1kW)

■**エレベーター設置率** 令和4年9月1日現在
 全国平均29.0% **御殿場市47.1%**

■**バリアフリートイレ設置率** 令和4年9月1日現在
 全国平均70.4% **御殿場市100%**

■**トイレの洋便器率** 令和2年9月1日現在
 全国平均57.0% **御殿場市86.5%**

■**体育館アリーナLED照明率** 令和4年4月1日現在
小学校80% 中学校22%



11

Q 7

工事中の**授業等**への影響は？

A 7

学校運営に極力、騒音や振動が影響しないよう、定期的に行われる**工事工程会議**にて、事前に**授業やテスト・行事予定を確認し、工事内容や施工時期の調整**を行います。また、**児童生徒等が不在となる長期休暇や放課後等**を有効利用し、学校生活に支障が出ないように努めています。

■**工事中の代替教室は？**

工事中は**仮設校舎**を利用し、各教室の機能を移転して学校運営及び学校生活に極力支障がでないように工事を行います。

■**児童生徒の安全な動線の確保は？**

工事エリアは、学校関係者への周知を徹底するとともに、適切な位置に**仮囲い**や仮設間仕切を設け、工事関係者以外が入れないようにします。

工事車両は、**専用出入口**を設定し、児童生徒等の通学時間は、出入りを控えることで、車両動線と歩行者動線の**交錯**を避け、**交通誘導員**を配置するなど最大限、安全に配慮します。



12

教育
施設

御殿場市教育委員会
教育部 教育総務課 施設スタッフ

〒412-8601

静岡県御殿場市萩原483番地

Tel 0550-82-4531 Fax 0550-82-4525

E-mail kyoiku@city.gotemba.lg.jp



鴻巣市包括施設管理業務に 関する各種取り組みについて

(滝沢市議会 総務教育常任委員会 行政視察資料)

令和5年1月24日
鴻巣市 財務部 資産管理課
教育部 教育総務課

はじめに



●鴻巣市の概要



- ◆埼玉県平野部のほぼ中央、首都圏50km圏内に位置。
- ◆江戸時代、中山道の宿場町として栄え、伝統産業である「ひな人形」や花卉栽培が盛んな、「花と人形のまち」として知られる。
- ◆高度経済成長期を通じ、ベッドタウンとして人口が急増。
- ◆南北に「JR高崎線」「国道17号」が縦断し、都市交通の骨格を形成するとともに、市内3駅周辺を中心に都市環境が形成。(都心約1時間)
- ◆地形はほぼ平坦で、日本一の川幅を誇る「荒川」を中心に豊かな自然も残り、災害も少ない。
- ◆地名の由来とも呼ばれる「コウノトリ」をシンボルとした、「人にも生きものにもやさしいまちづくり」を推進。(R3年度に飼育・展示・啓発施設「天空の里」をオープン)

≪統計データ≫

	鴻巣市	滝沢市
人口	: 117,679人	55,668人(R3.10)
世帯数	: 51,292人	23,930人(R3.10)
面積	: 67.44km ²	182.46km ² (R5.1)
歳出決算額	: 390億円	218億円(R3年度)
職員数	: 692人	337人(R4.1)



日本一の川幅(荒川)



日本一のピラミッドひな壇



当時世界一だった4尺玉の花火 日本一の栽培面積のポピー畑

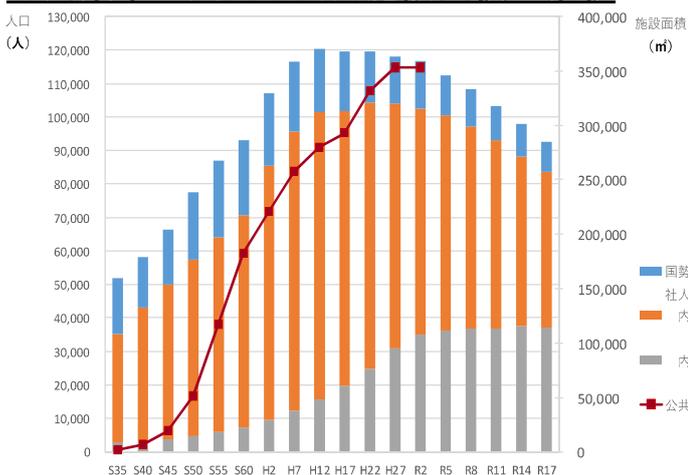


本市天空の里内のコウノトリ



鴻巣市の現状

●鴻巣市の人口と公共施設面積の推移

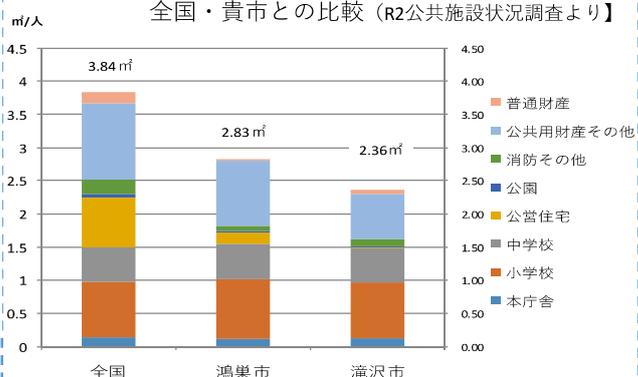


≪公共施設等保有量 (R3末)≫

施設数 : 157施設 (404棟)

延床面積 : 352,986 m²

【(参考) 人口1人あたりの保有面積
全国・貴市との比較 (R2公共施設状況調査より)】



●S60・H27・R17の比較と基本目標

	S60	(増減率)	H27 当初計画時の基礎	(増減率)	R17 社人研推計
人口	92,971人	1.27倍	118,072人	0.78倍	92,619人
生産年齢人口	63,188人	1.15倍	72,954人	0.63倍	46,662人
老年人口	7,392人	4.20倍	31,022人	1.19倍	36,955人
施設面積 (一人当たり施設面積)	182,605 m ² (1.96 m ² /人)	1.93倍	353,017 m ² (2.99 m ² /人)		

公共施設等総合管理
計画での削減目標
(床面積割合)
28.5%
(▲100,453 m²)

◆H28策定時から40年で『約355.5億円 (年9.9億円)』不足
(H23~R2の投資的経費ベース)

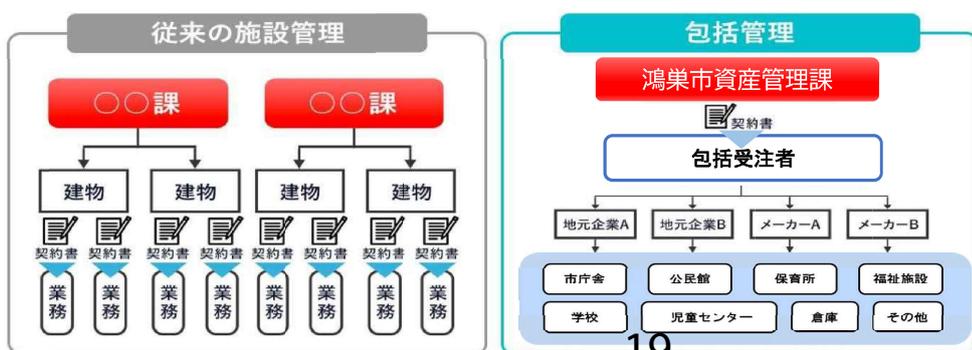
2

包括施設管理業務とは



●導入自治体にみられる一般的な制度概要

- ・複数の施設・業務の保守管理を **まとめて委託**。(但し、全施設ではなく、出来るところから)
- ・仕様発注ではなく **性能発注**。(最低要求水準 (課題・目的・与条件のみ) を提示により、民間事業者の独自ノウハウを発揮しやすい制度設計)
- ・ **包括受注者が総合的に管理しながら、地元企業へ再委託**することを前提に実施。
(すべての維持管理業務等を包括受注者が受託するものではない。)
- ・ 目的は、大きく「**安全性の向上**」「**長寿命化 (事後保全から予防保全)**」
「**維持管理情報の一元化**」「**事務効率化**」「**コア業務 (≒施設提供サービス向上) への専念**」
- ・ 自治体によって、「**小規模修繕**」を含むケース有り (本市も含む)
- ・ 多くはプロポーザル方式を採用の上、管理品質向上のための **追加提案内包** (管理システム等)
- ・ 直営時に職員が行っている人件費相当 (巡回点検・設計検討等) を、包括受注者に委ねることに伴い、フルコストでの経費が必要になる傾向 (≒通称「**マネジメント費**」の必要性)
- ・ 最近では、窓口業務や遊休資産活用提案等を含める募集もあり。(保守管理からマネジメント)



3

■鴻巣市包括施設管理業務の概要



●本市の包括施設管理業務の概要

対象施設	市役所、市民センター、消防器具置場、児童センター、保育所、福祉センター、高齢者福祉施設、障がい福祉施設、保健センター、駅施設、 小学校、中学校、給食センター、人権施設、公民館、コウノトリ野生復帰センター等 <u>1.1.8施設</u>
委託期間	令和4年4月～令和9年3月（5年間）
受注者	JM・FBS・前田共同事業体（代表企業：(株)JM 構成企業：(株)FBS、前田建設工業(株)関東支店） （JM受注：伊豆市、ふじみ野市（予定）、国立市（予定） FBS受注：常総市・東村山市受注）
発注方式・予算	公募プロポーザル方式／債務負担行為設定
予定価格	2,225百万円／5年 445百万円／年（税込） （保守管理業務費:277百万/年（現行予算）+修繕業務：110百万（直近3ヵ年平均） +マネジメント業務費58百万（サウンディング結果&先進自治体効果額算出を参考に算出）
実施業務	保守点検業務 電気工作物、消防設備、空調、オイルタンク、浄化槽、受水槽、高架水槽、昇降機、排気設備、特定建築物定期点検・検査報告書作成、自動ドア、植栽、清掃、機械警備、その他維持管理
	簡易修繕業務 ・ 見積金額が1,300千円以下の、対象施設の建築物及び設備等に関する修繕 ・保守点検・清掃等業務の対象設備等だけでなく、対象施設全体を対象 ・施設敷地内の外構等も対象 ・施設に配置している 事務備品、小規模家電等は対象外
	巡回点検業務 ・ 各施設の巡回点検（原則月2回） による汚損・破損チェック&軽易対応可能なもの修補
地元業者	・ 地元事業者等を積極的に活用する条件を付与
特記事項	・長期継続契約は、契約満了後に引継ぎ ・施設状態、点検実施工程、損傷対応結果等、保守・修繕・点検実施の計画・実施内容を、 全てシステム一元化の上、共有化 ・（予算確保が前提だが）施設・業務の 追加・変更等も計画期間中に、柔軟に対応

4

■導入の経緯・流れ



●導入経緯

- ・ H28年度の公共施設等総合管理計画策定時に浮き彫りとなる、施設の老朽化・技術職員の不足・財源不足・縦割り体制といった要因と、**現行体制での管理水準の維持・向上に対する不安。**
⇒ 我孫子市の事例研究実施。（※随契提案制度での実施だった点に課題を持ち、発議保留）
- ・ 令和元年度に公共施設マネジメントの推進・調整役として、財務部資産管理課が発足。（企画&管財&建築営繕）
⇒ 改めて本制度のメリット・導入自治体の増加に着目の上、**資産管理課より事業発意提案。**庁内横断した検討ワーキンググループ（以下「WG」）による事業検討に着手。

●検討の流れ

<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;">構想段階 (約4年)</div> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;">検討段階 (約1年)</div> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;">公募段階 (約半年)</div> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;">運用調整段階 (約半年)</div>	H28年度	・公共施設等総合管理計画（当初）策定
	R1年度	・資産管理課発足 ⇒ 事業企画提案
	R2年度	・庁内検討WG（全14回） ・過年度仕様書等の洗い出し・整理 ・サウンディング市場調査（2回） ・ 議会説明&債務負担行為予算提出（R3～R8年）
	R3年度	・公募プロポーザル 実施要領公表（4月）、結果公表（8月末） ・地元事業者等への制度周知・説明会（4月、10月） ・優先交渉者との細部協議 ⇒ 契約締結（3月）
	R4年度	・本業務開始



■ 検討時のポイント①

① 事業効果を高めるため、庁内横断的検討WGを発足

- ⇒ 企画・財政・契約・所管課の中堅職員（全13名）（≒自前で取り組む）
- ⇒ 官民双方の知見を有する「日本PFI・PPP協会（現まちみらい）寺沢弘樹氏（元流山市職）」にオブザーバー業務を依頼（幹部級研修も実施）
- ⇒ 市の課題整理・他市事例研究等と併せ、当該業務で何を叶えたいのか**ビジョンを明確化**（≒民間対話における、市の姿勢）

【参考：WGで整理した実施意図と考え方(ビジョン)】

【実施意図】

- 単純に維持管理業務等を**包括化し効率化するだけの性質ではなく**、市直営で解決しがたい課題を民間事業者と手を携えて（PPP）、**業務水準の統一、保守管理の質の向上及び業務の効率化を図るとともに今後の持続可能な公共施設の管理運営に繋げる**ための手法（≒公共FMの起点）。

【根幹の考え方】

- ◇ 性能発注（最低要求水準（課題・目的・与条件のみ）を提示により、民間事業者の独自ノウハウを発揮しやすい制度設計）による、「**質への合意**」
- ◇ 付加価値サービスとワンセットにした展開（※業務水準の向上、民間事業者提案に基づく業務効率化）
 - ⇒ 一方で、効果向上のためにも、**やり方を変える点への柔軟な理解と約束が必要**。

【現行課題と改善の狙い】

項目	現行の課題	包括実施での狙い
施設	・施設劣化進行(安全責任) ・事後対応 ・予算不足	・定期巡回点検内包による、施設状態の一元把握 ・優先順位化の支援 ⇒将来に向けた計画的予算配分 ・小破修繕内包による安全管理の迅速化(130万までは、種類で対応可能ライン) ・プロポーザル追加提案サービスにより、より質の高い運用の可能性
管理水準	・管理仕様、水準の妥当性、統一性 (所管課毎、管理にばらつき)	・組織縦割りでない包括による統一・平準化(本来のあるべき水準の確保) ・状態確認や活用状況等の客観データが蓄積 ⇒包括を起点にした、公共FMの推進 ・予防的措置による修繕費削減 ・ノウハウの吸収(官民共)
事務管理体制	・膨大な事務コスト ・専門職の不足 ・仕様の高度化(業者協力不可欠) ・前例踏襲	・一括発注による、膨大な事務コストの低減 ・質の高い事業者の管理
受注者	・同一事業者が多い、 ・下請けは残る傾向(結果一緒) ・過去の事業者への配慮	・他市事例からも、地元発注の概ねの担保は可能 ・市内事業者の育成等にも効果

6

■ 検討時のポイント②



② 2回のサウンディング市場調査（実質3回）による実現性検証

- ⇒ **どのような企業が興味を示すか？** 応募があるのか？
- ⇒ 市が求めたい**与条件の実施は対応可能か？**
- ⇒ どのくらいの施設規模が、妥当か？（例：箱物のみならず、公園等も全部内包可能なのか？）
- ⇒ 現行予算のかけ方が、民間市場から見て妥当なのか？
コスト削減余地があるのか？
- ⇒ 現行予算では存在しない「巡回点検」や「総括管理」等の経費（≒マネジメント費）に対し、現行保守管理予算内、若しくは**どの程度のマネジメント費によれば、質の担保と付加価値づけを踏まえた提案が望めるか？**

【参考：サウンディングによる対応整理】

主たる項目	意向概要	整理ポイント
受注施設規模	・初動を考慮すると、フルマックス(約180施設)では、対象が広すぎる ・直営施設を中心にした程度のボリュームが望ましい	118施設に絞り込み
管理委託内容	・提案した「電気工作物」「消防用設備」「空調設備」「浄化槽等」「受水槽等」「EV等」「自動ドア」「建築基準法12条点検」「清掃」「樹木・植栽管理」「警備」その他」及び「小破修繕(130万以下)」 「巡回点検」内包は、概ね異存無し	巡回+修繕を仕様に加え(前提として)実施
現行予算規模	・無理をしている経費ではないが、 余裕のある経費ではない ・最低賃金の上昇率は、ある程度加味されたい(3%程度)	現行予算をベースに上限額設定
マネジメント経費	・ 各社とも必要の認識 各社の提案の内容・質により、増減	市の簡易事務コスト試算とも比較し、上限額設定
実施期間	3年では短く、5年が妥当 10年は初動では官民リスクが高い	5年で設定
指定管理導入施設	・現協定期間を考慮し更新期に追加するスタイルがリスク管理の面からも妥当 (本市の場合、一斉更新がR6スタートで、丁度中間になる想定であり、再判断も可能)	社協施設を除き、指定管理導入施設は当初範囲から除く
地元企業への配慮	・基本的などの企業も、協力無しに事業は出来ない認識に立った考え 民間の仕事の受注機会等を提案するケースもあり、仕事を奪うことには恐らく繋がらない感触	バランスの取れた条件設定を検討
行政への支援事項	・安からろ悪からろに陥らないためにも、審査時の価格点は低く ・提案事項への柔軟な対応、統一運用の庁内理解浸透、丸投げにならない体制 ・地元事業者への案内	仕様書等における配慮事項として、整理別途地元事業者にはアナウンス実施

7



■検討時のポイント③

③ 地元事業者・現行事業者への制度理解の醸成

- ⇒ コロナ過の状況もあり、**R4募集前段階**で、指名登録業者・現行事業者へ向け文書による**アナウンスを実施**。
- ⇒ 特に以下の3点について説明を実施。

◆市の姿勢（必要性）

- ・ 施設ごとの管理水準のばらつき、専門職員の不足、設備や構造、法定点検等の複雑・高度化している状況、そして**中長期的な視点に立った保全のあり方に対し、横断的かつ官民協働で検討する必要性**（※従来のやり方を変えることへの理解と協力依頼）

◆業務遂行の前提

- ・ すべての維持管理業務等を包括受注者が受託するものではなく、これまで市が「所管課ごと」「施設・設備ごと」に皆さまに委託していた業務を、包括受注者が総合的に管理しながら、**皆さまに再委託することを前提**に実施するもの。
- ・ **受注機会がなくなるわけではなく**、包括受注者が皆さまに再委託する際は、従来、市に提出いただいていた見積り等も参考としながら、公平・公正な立場のもと、**別途協議の上、適正な委託費をもって再委託**することが前提。
- ・ 包括受注者には、別途監理経費を用意した上で本業務を遂行するため、**「包括受注者のマージン搾取等による地元事業者等各位の業務費が下がること」はありません**。

◆ICT化への対応

- ・ **点検・修繕等の業務進捗や完了報告、承認等**について、包括受注者の提案に基づく**「インターネット環境を利用したシステム」への切り替えを想定**しています。
- ・ 包括受注者（優先交渉権者）が決定後、調整させていただきたいと考えています。市・包括受注者、そして皆さまにとってもわかりやすく、効率的な施設管理業務運営を構築するために、ご協力を依頼することも想定されますので、是非、本業務にご理解の程をお願いいたします。

※優先交渉者決定後、10月に詳細説明会を実施。

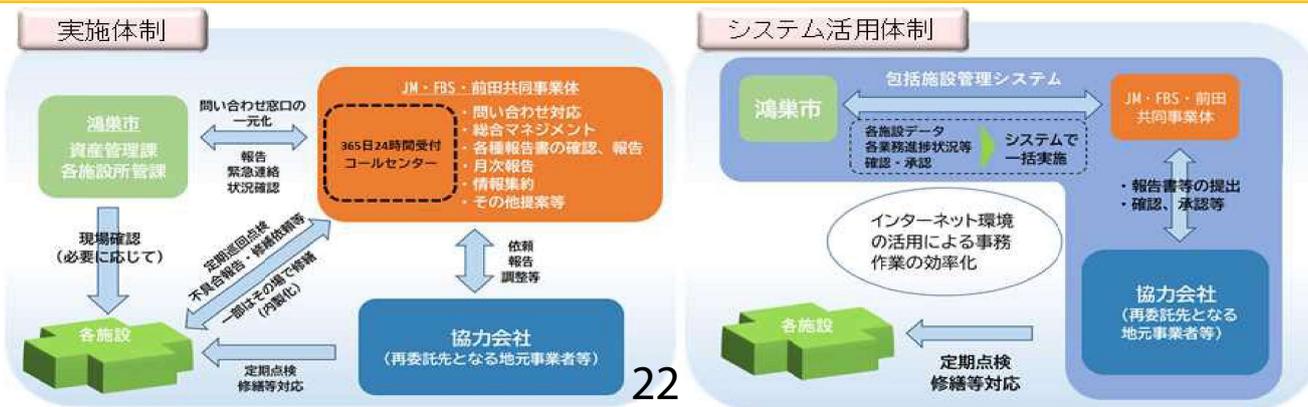
■実施体制



●本市の包括施設管理業務の実施体制

対 象		役 割
市	施設所管課	保守管理・巡回業務：「仕様書の確認」「日程調整」「実施報告の検収」 小規模修繕業務：「不具合の報告」「仕様・金額・再委託先の承認」「日程調整」「成果検収」
	資産管理課	総括事務局（契約事務・全体調整） 小規模修繕業務については承認行為を行い、仕様・経費等を2重チェック
包括事業者		「定期巡回点検」「不具合報告&積算&見積徴取」「報告書の確認・整理」「管理情報の集約」「問い合わせ対応」など
地元事業者等		包括事業者からの依頼に基づく業務実施、見積・報告書提出

⇒ 緊急対応・現場業務以外のプロセスは、原則『包括施設管理システム』にて実施。





■本市の特徴

●本市の主たる特徴

- ◆ 予算は**資産管理課にて一元化**（修繕予算についても、各所管課予算を一本化）
⇒ 縦割りの排除、客観的優先判定に基づく実施体制
- ◆ 建物管理業務以外の業務（例：窓口業務、事務備品の修繕など）は含めない。
⇒ 当時は事例が少ないこともあり、見送り。
- ◆ **修繕**に対し、市の技術職員が方針検討は行わず、**包括事業者へ直接依頼**。
⇒ 明石市では、所管課から包括担当へ不具合連絡→包括担当が基本的対応方針を包括事業者へ指示
⇒ 本市では本業務専門職員の配置は困難につき、不具合連絡&対応方針検討は全て包括事業者へ
- ◆ 追加提案で採用した「**包括施設管理システム**」にて、「**仕様確認⇒承認⇒検収**」を実施（各課へIpadも支給）
⇒ 紙媒体からの脱却（協力事業者含め）
- ◆ 「**市施設所管課と包括事業者**」「**包括事業者と協力事業者**」にて、**月1回の定例会開催**。
【市×包括事業者】
「全体経過把握」「業務改善協議」「職員でもできるチェック・簡易修繕等の紹介」「新工法等の提案等の技術研鑽」 etc
【包括事業者×協力事業者】
「安全対策事項の共有」「新制度の周知（例：R4からのアスベスト改正法施行）」
「修繕提案書・報告書等の精度向上検討」 etc
⇒ **品質向上・作業効率化に向けた、官民連携した取組を推進**

10

■質問事項への回答①



Q1:「鴻巣市公共施設個別施設計画」との連携、整合性は図られているか（実施の経緯、導入決定から開始までのスケジュール 等）

- ◆ 実施の経緯（スケジュール）については前述のとおりですが、**計画との整合性**については、個別施設計画ではありませんが、当初策定した「**鴻巣市公共施設等総合管理計画**（H28年度）」における、『**公共施設等の管理に関する基本的な考え方-点検・診断等の実施方針**』にて、以下のとおり明記し、対外的にも検討を進める旨を、示していました。

法定点検(法令などで資格や実施要項などが定められている点検)を実施するほか、担当職員で実施可能な日常点検や診断の方法などを検討します。
また、公共施設の性能に大きく影響する屋根、外壁、機械設備などは、専門的な知識や技能が必要であるため、ライフサイクルコスト等の費用対効果を考慮した上で、**先進事例に見られる包括的民間委託方式等の方法を検討します。**

- ◆ なお、今年度**改訂した当該計画**では、**より具体的に**、**官民連携による取組みを推進**する旨を、示しています。

法定点検(法令などで資格や実施要項などが定められている点検)を適切に実施するほか、担当職員で実施可能な日常点検や診断の方法などを検討・実践します。
また、修繕・改修費を抑制するためにも、公共施設等の性能に大きく影響する屋根・外壁・機械設備等や、土木構造物・工作物の状態を把握し適切な改善が行えるよう、**可能な限り「事後保全（≒不具合を生じてから対応）」から「予防保全（≒不具合が生じる前に計画的に対応）」への転換を目指します。**
更に、より高度な専門的知識や技能を民間活力に求め、令和元年度(2019年度)からは水道施設、**令和4年度(2022年度)からは公共施設の「包括施設管理業務委託」を導入するなど、官民連携による安全性の確保も実践して**いきます。
なお点検・診断した結果・記録はデータベース化し、情報として蓄積の上、今後の全庁的なメンテナンスに活用してまいります。



■質問事項への回答②

Q2: 包括管理委託の導入前と導入後の維持管理、修繕を比較しての相違点等は？ (民間のノウハウ活用、地元企業に優先的に依頼 等)

- ◆保守管理報告結果に基づく修繕対応等について、**迅速化に寄与**。
従来：報告書を市受領（指摘事項有り）⇒内容精査&仕様検討&**予算化**⇒修繕実施
現在：報告書を**受注者**受領（指摘事項有り）⇒内容精査&仕様検討&**伺い**⇒修繕実施
- ◆部品調達等に対し、別ルートでの調達。（早期修繕完了）
⇒ **大手包括事業者グループのネットワーク**を駆使
- ◆**包括事業者**にて、本業務に協力・熱意のある企業を**メンバーシップ登録&発注**。
⇒登録事業者の労基、経営状況等のチェック。
⇒メンバーシップ登録事業者から、再委託候補企業を選定。
（※説明会開催により、市に参加登録の有る企業には全て声かけ）
⇒ **選定には、市内事業者を特に優先**
- ◆日常清掃業務従事者等へ、不具合等の予兆把握等の協力体制を構築。
⇒LINE・メール等を使った報告（**予兆発見に寄与**）

- ◆包括事業者による新手法での修繕提案
⇒ **安価かつ性能がよい工法提案**
（右図事例：通常撤去・再設置のポールに強度を強化する塗装修繕を実施）



12

■質問事項への回答③



Q3: 包括管理委託による、市教育委員会、学校の業務はどのように変化したか？ (受託者と学校、教育委員会との連携 等)

- ◆ **役割**については**大きく変更要素はありません**。
包括事業者が相互業務の支援、強化を行っているイメージです。

	役割	従来の業務分担	本業務実施下での業務分担
市教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> 設置者として施設整備を含めた学校の管理 （※学校教育法&地教行法） 常時適法な状態の維持、定期検査点検の実施 （※建築基準法） 	<ul style="list-style-type: none"> 保守管理業務の設計・発注・監督・検収 修繕業務の設計・発注・監督・検収 大規模更新等の時期・方針検討 （※設計・監督等は当課営繕部局） 	<ul style="list-style-type: none"> 保守管理業務の仕様決定・検収 修繕の仕様決定・検収 大規模更新等の時期・方針検討
学校	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検計画の策定と実施 不具合の応急対応or設置者への申し入れ （※学校保健安全法） 	<ul style="list-style-type: none"> 日常点検の実施 各種報告書の検収・受領 不具合の報告 （⇒教育委員会へ） 	<ul style="list-style-type: none"> 日常点検の実施 各種報告書の検収・受領 不具合の報告 （⇒包括事業者へ）
包括事業者	<ul style="list-style-type: none"> 業務品質を高めるための、仕様提案・成果検証・改善措置提案と実施 		<ul style="list-style-type: none"> 保守管理の仕様提案・成果精査 （※法令基準は遵守） 修繕業務の仕様提案・決定事項発注・発注先監督 大規模更新等の優先性判定と方針提案 月2回の巡回点検実施 （より専門的・見落としがちな範囲をカバー）

24

13

■質問事項への回答⑤- 2

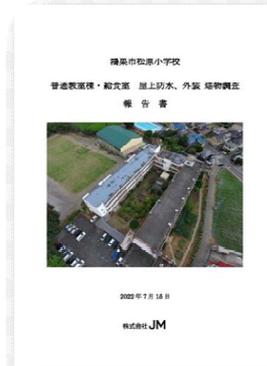


- ◆ 鴻巣市公共施設個別施設計画（3年間_毎年更新）において、**建物の物理的使用目標年数**として、「60年（木造・軽量鉄骨造除く）」を定め、躯体健全性が保たれている場合には「80年」を目標としています。

この目標に即し、**可能な限り部分修繕・予防保全を遂行**するとともに、経年劣化が著しい施設における大規模改修や建て替え等の検討については、**別途包括受注者と協働**による、ドローン等を活用した、**精緻な状態把握の作業と仕様検討（概算費算出）**を行い、毎年更新する**個別施設計画に反映**の上、詳細設計・工事を行います。



ドローン撮影（右下図は動画撮影）



先行着手した改修工法提案書

- ◆ なお**学校統廃合の検討**については、本市では、施設状態以上に、**集団教育環境に制約が生じる（小学校の場合、全学年単学級）**ケースを重視し、適正規模・適正配置の検討時期を定め、検討を進めています。

16

■質問事項への回答⑥- 1



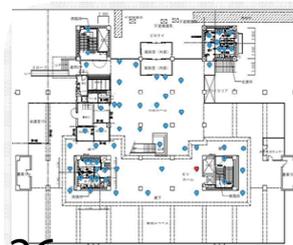
Q6:導入後の評価は？
(現時点で考えられるメリット、デメリット、改善点 等)

◆【メリット】

市全体	気づかなかつた劣化・損傷等の把握と改善処置
	図面・映像・画像・3Dモデル・報告書・過年度履歴等の 管理情報一元化 による 各種検討の容易さ
	事業者・所管課・資産管理課の連携による、重層的チェック
	限られた予算の中での、「 客観的な優先順位化 」&「 合理的な財源配分 」
職員	相談窓口の一本化（ 身近な専門家の存在 ）
	契約事務、現場確認（場合による）、発注、伝票作成等の 業務負担減
	コア業務への専念
地元事業者	優先的受注機会の確保、 民間業務受注機会の獲得 (※株JMは大手コンビニエンス等の包括管理も手掛ける)



BIM化した施設3Dモデル



26

3Dカメラによるパノラマビュー



17



◆【デメリット】

市全体	・取りまとめる部署の負担増
職員	・優先性判定結果に基づく対応様子見等、判断への若干の不満 (資産管理課介在+予算一本化の影響) ・新システム機能への成熟(まだまだ使いこなせない)
地元事業者	・管理システムへの対応の煩わしさ



**総合的にはメリットの面が大きく、効果を実感
(特に小規模修繕を内包する点で、劣化対応がスムーズ)**

※ まもなく、所管課&地元事業者へのアンケート調査を実施(毎年予定)
この中で、改善点等あれば、適宜協議調整。

■結びに



●導入検討のポイント

行政	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り排除、設置者責務の見つめ直し (≒従来仕様&経費のかけ方の検証必要性) ・取りまとめ部署には熱意ある人材 ・地元事業者への丁寧な説明 ・サウンディング等による、候補事業者と協議 (≒市の狙い・思いを、どこまで対応できるか) ・市の実情に合わせた手法のチョイス (≒施設範囲(学校だけの包括管理も事例有り)、事業者選定方法、 予算裏付け・一元化、修繕の有無、窓口業務等のソフト事業の有無 etc)
議会	<ul style="list-style-type: none"> ・コストと効果の認識共有化 (本来必要な維持管理経費の認識、マネジメント費、システム等の付加価値提案の価値) ・受注者は課題解決のパートナーである点への理解 (PPPの本旨(≒直営で解決しがたいからこそ、協力関係))
地元事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のやり方を変えることへの理解 (包括事業者との協力関係の構築、ICT化への対応など)

◆包括施設管理業務は、あくまで『施設マネジメントの起点』
⇒詳細な情報蓄積により、未来を見据えた幅広い施設活用の検討が可能

ご清聴ありがとうございました

花かおりれ 緑あふれ 人輝くまち ころのす



鴻巣市メインキャラクター
「ひなちゃん」

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
1	体育館通路のバリアフリー化	筋ジストロフィーの児童が在籍しており、車いすで学校生活を送っている。前年度設置していただいた昇降口スロープは日常生活に不可欠なもとなり、大変役立っている。引き続き体育館通路スロープの設置もお願いしたい。避難所としての機能充実にもつながるものであると考え。	R4実施 (備品対応)
2	理科室排水管止水栓の不具合	理科室の排水管につながる止水栓に不具合があり、改善工事が必要。	経過観察
3	配膳室地下ピット浸水	大雨が降ると配膳室地下ピットが浸水し、オイルポンプが故障する可能性がある。そのため、その都度排水作業を行っている。日々の確認等用務員がその作業に追われており、緊急に対策が必要な状況である。震災前から症状はあったが、震災後ひどくなり、最近はさらに深刻な状況にある。	経過観察
4	体育館雨漏り修繕	暴風雨時等、天井部の窓から雨漏りがあり、児童の活動に支障をきたしている。雨粒の落ちた体育館の床部分はワックスが剥けて木目が粗くなっている。	R4実施 要継続
5	校庭北側桜の枝伐採	校庭北側にある桜の木の枝が、道路にせり出している。電線に間近な枝もあり、台風等の暴風時には、接触する恐れもある。	R4一部実施 (補助事業) 要継続
6	プレイコート 一輪車用手すり撤去	一輪車用の手すりが老朽化しており、一部鉄パイプを押さえる部分が朽ちている。安全上撤去をお願いしたい。	R5実施予定 (補助事業 附帯)
7	職員トイレ・体育館トイレ洋式化	職員トイレ・体育館トイレは1か所ずつしか洋式トイレがない。その洋式トイレもふたがなく、感染症等予防対策のためにも蓋つきの洋式トイレへ改修が必要である。また職員女子トイレは、その一つの洋式トイレが配管の不具合から水漏れが生じ、日常的に使用できない状況にある。避難所としての機能充実のためにも早急な対応が必要である。	R4対応済 (補助事業)
8	現4年2組の窓、増設	構造上の問題から窓が少なく風通しが悪いため、欄間部分の改造と、外側中央の窓が開くようにしてほしい。	代替方法を検討中
9	特別教室 エアコンの設置	近年、猛暑が続き、屋外等での活動が制限されることが多くなった。そのような中夏場汗をかきながら図書室で読書する児童の姿が見られる。また特別教室で授業を実施する際、エアコンが設置されていないため諸活動に支障をきたしている。(例:理科実験や調理実習など)	全校共通案件
10	職員室電話の更新	現在使用している電話機は、1988年製で音量調節ができず、着信があった場合、聞き取りにくい。重要な情報を聞き逃してしまいかねないので、早期の更新が必要。	R4実施
11	教室蛍光照明設備本体交換	安定器の劣化不良により蛍光管が点かないことがある。LEDへの計画的な変更が必要である。また、非常階段1階部分の外灯が点灯せず本体交換が必要となっている。	R4実施 要継続

【⑧滝沢小学校】

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
1	校庭体育倉庫扉取換	開け閉めが多いため戸車が摩耗し、すぐ外れてしまう。別なものに付け替えてほしいが、レール部分も曲がり、すり減っているため戸枠部分を交換を交換したい。	R4実施 (用務員対応)
2	ブランコ後方フェンス修理	フェンスの支柱が土台から外れてゆがみ、敷地一体のフェンスのところどころに穴があいている。児童がケガをする危険があるため、立ち入り禁止としている。	大規模改修案件
3	バックネットフェンス修理	フェンスのところどころに穴があいていて、切れて尖った先で児童が額にケガをしたことがある。バックネットに近づかない遊び方や簡易的に穴の補修をしているが、老朽化しているので、修理が急務である。	R4実施
4	体育館放送設備修理	マイク使用時に音が途切れたり、CDが使用できなくなることがあり、卒業式など大きな行事では、使用に困難がある。	R5実施予定 (補助事業)
5	児童昇降口(屋外)スピーカー新設	児童昇降口付近にはスピーカーがなく、災害発生時等に避難が遅れるなど不安がある。	R5実施予定 (補助事業)
6	1階教室照明改修	照度検査により、照度不足が指摘されている教室がある。特に1F北側教室が照度が著しく基準値を下回る学習環境の改善をお願いしたい。	R5実施予定 (補助事業)
7	校庭の排水改善	降雨のたびに校庭表土が流出し、大量の砂が側溝に流れ、周辺の道路にまで泥水があふれる。	R4実施
8	体育館トイレ、扉設置部分の補強及び壁部の塗装	体育館の男女トイレの扉の設置部分が腐食している。また、壁部分も剥がれ落ちている部分が多く、薄暗いため子供たちが毎日使うものとしてはそぐわない。(洋式化も引き続き要望するものです)	R4一部実施 (補助事業) 要継続
9	職員トイレの洋式化	職員トイレをすべて洋式化したい (男子トイレ2か所中 - 洋1・和1 女子トイレ3か所中 - 洋1・和2)	R4実施 (補助事業)

【④滝沢第二小学校】

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
1	北昇降口階段の修繕	階段が、劣化により、ぼろぼろに崩れていて危険である。	大規模改修案件
2	校庭への階段の修繕	校舎側から校庭へ降りる主要階段が、劣化により、ぼろぼろに崩れてきていて危険である。	全体優先順位により見送り
3	水道配管ヒーターの設置	高架水槽から屋根裏を通っている配管にヒーターが付いていないため、年末年始休業の際に2時間かけて水抜きをしなければ凍結の恐れがある。水抜き作業にかなり時間がかかって大変なので、凍結防止ヒーターを付けてほしい。	全体優先順位により見送り
4	南校舎2階ホール天井の雨漏り修繕	雨、風が強いときに、雨漏りしてしまうので、修繕をお願いしたい。	大規模改修案件
5	校舎周りの舗装	碎石を入れて整備した場所もあるが、でこぼこ状態が改善されない。車両の通行にみならず、体育館裏側については駐車場としても利用している。台風などの災害の際にも安全に利用できるように、舗装をお願いしたい。	全体優先順位により見送り
6	校庭から学校前市道への道路の舗装又は、砂利入れ	登校時、児童の安全確保のため、正門から校舎前の車両侵入を禁止しているため、職員が毎朝校庭側の道路を利用している。そのため、路面は掘られ、でこぼこになっている。砂利を入れて雨天時のドロドロは少し解消したが、舗装工事をお願いしたい。	全体優先順位により見送り
7	配膳室前のスロープのコンクリート舗装	給食車が配膳室に乗り付けするスロープの斜面傾斜がきつく、給食車両底面をこすったり、打ち付けたりする状況になっている。傾斜をなだらかにするようにコンクリートを打つなどの対応をお願いしたい。	全体優先順位により見送り
8	外マンホールの周りの修繕	マンホールが浮き上がっていて、児童や足を引っかけ転んでけがをする危険がある。車が通ることも多いが、車両の下部をこすってしまうなど通行の邪魔になっているので平らになるように修繕をお願いしたい。数か所ある。	全体優先順位により見送り
9	南昇降口児童下駄箱の改修	年数が経過しいたみがひどくなってきている。テープ等で補修し靴の出し入れの際にけがをしないようにしているが、使用しているうちにはがれてしまうので安全面において心配である。改修をお願いしたい。	大規模改修案件
10	北昇降口床の修繕	昇降口の床の上り下りの部分が砕けて欠けていたり、ひびが入っているので、修繕をお願いしたい。	全体優先順位により見送り
11	体育館ステージ側ネットの修繕	ネットを開閉するためのひも部分がほつれてきており、このままでは切れてしまうので新しいひもに替えてほしい。	R4実施
12	体育館横プレハブ小屋	床の損傷と扉の損傷がひどい。特に床はでこぼこで、雨漏りもしている。早急に対応をお願いしたい。	全体優先順位により見送り
13	プール周りの塀の設置	プール周りに設置されている塩ビ波板がかなり破損してきている。それをつけている木材も腐っている。プールわきに風よけ(?)目隠し(?)のため植えられている木も枯れた部分もあるので、全体に塀を立てていただきたい。	全体優先順位により見送り
14	渡り廊下のシャッターを壁に改修	虫、ネズミ、コウモリが出入りしないようにと冬場の寒さ対策にシャッターを取り払い、壁に改修をお願いしたい。	大規模改修案件
15	児童昇降口入口の上側部分の塗装	児童昇降口の上部の塗装が剥がれてきている。目に入る危険もあるので塗装をお願いしたい。	大規模改修案件
16	遊具の撤去・新設、鉄棒の移設	遊具点検により使用できない遊具がある。それを撤去し、新設していただきたい。高鉄棒と低鉄棒が校庭の南北に離れて設置されているので、できるだけ目につきやすい場所で鉄棒ができるようにするとともに、体育の時間に一度に使える鉄棒の数を増やしたいので南側(校舎側)に移設していただきたい。	R4実施(補助事業)
17	昇降口、玄関前の側溝の修繕	側溝が、粹組みも乱れ、なくなったり、蓋もあつたりなかつたりで、子どもが足を入れてけがをする危険がある。	大規模改修案件

【④滝沢第二小学校】

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
18	校庭の側溝の修繕	側溝の蓋もあつたりなかったり、枠も崩れてきている。	大規模改修案件
19	校庭砂場の枠の修繕	砂場の枠組みが、崩れて欠けていたり、もろくなってきている。	全体優先順位により見送り
20	体育館前の校庭へののり面の整備 (地盤沈下と斜面の崩れ)	のり面が、かなり崩れてきている。	経過観察 (改善傾向)
21	用務員室の外に水道設置	用務員室の脇で苗を育てているが、水かけは、近くに水道がないためプールの鍵を開け、中からホースを繋いで水かけをしている。また、外での作業後に、長靴や手を洗ってから中に入ることができるため。	全体優先順位により見送り
22	校庭西側にフェンス設置	校庭の西側は現在フェンスは設置されていない。端まで行くと木が茂っているが、下は川が流れている。体育やスポーツ少年団の活動などでボールが飛んでいくと危険である。倒木の危険もあるので、フェンスを設置していただきたい。	全体優先順位により見送り
23	掲揚塔の傾斜補修	掲揚塔の土台が傾いている。	経過観察
24	校庭側階段横の補修	階段横の土砂が流れ、溝になっている。	全体優先順位により見送り

【③鶯飼小学校】

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
1	低鉄棒設置	【環境向上】※H28年度からの継続要望 低学年にあった高さの鉄棒がなく、高さの合わない鉄棒での指導は危険なため苦慮している。逆上がりの指導の際の補助具が、児童の背の高さになり使用できない状況である。 ビエス 152-3065 1欄51,000円、1欄増す毎に31,000円 計6欄 226,600円 ※別途工事費必要 (カタログ写し添付)	R4実施 (補助事業)
2	校門手前 歩道沿いフェンス 下部腐食	【安全】【機能回復】※継続要望 フェンス下部が腐食し、網の部分がむき出しになっている箇所があり、登下校時、児童が怪我をする危険があるため、改修を要望する。 ※現在はゴムチューブなどで覆い、仮補修を繰り返している	R4実施 (補助事業)
3	校庭スロープ改修(増幅)	【安全】【利便性】※継続要望 参観日、学習発表会など、校庭を駐車場として開放する際に、校庭に乗り入れるスロープの幅がせまく、大きな車は、スロープからタイヤが落ちる危険がある。スロープを拡張したい。(1車両分から3車両分へ)	全体優先順位 により見送り
4	校庭整備 (表土補充)	【安全】【機能回復】※継続要望 風雨により校庭表土が流出し、溝が発生する。掲揚塔付近には水たまりができる。また時計の土台がむき出しになってしまう(今年度用務員研修で補修してもらったが、流出が止まらない)校庭に石が露出している箇所も複数できるため、表土の補充を希望する。	R4実施 (補助事業)
5	エアコン設置	【利便性】 ①なかよしルーム・・・スクールカウンセラーの相談室、保護者との面談、個別検査、生徒指導、打ち合わせなど常に活用している部屋だが、夏場熱がこもりやすく西日が入り、夕方まで室温が高いので設置を希望する。 ②現会議室(旧視聴覚室)・・・検診で使用した際、暑さ対策で扇風機を設置したが、校医の先生方がかなり汗をかいて診察されていた。検診の他に会議でも使用する部屋でもあり設置を希望する。 ③図書室・・・西日が入り室温が非常に高くなるため必要である。	全校共通案件
6	体育館改修	【機能回復】※継続要望 ①女子トイレ改修・・・雨漏りで腐食した天井部分が開いたままになっている。もともと和式の個室に洋式便座を設置しており非常に狭い。また、戸の開まり方が急で危険である。雨が降ると壁に雨が流れ落ちてくる状況である。 ②結露対策・・・天気によって体育館フロアに溜まるほど結露が発生する。雨漏りと結露により天井の腐食が激しい(平成24年6月には雨漏りかと思うほど水滴が鉄筋に沿って落ち、体育館が2日程使用不能になった)	①R4一部実施 要継続 ②経過観察、 大規模改修案件
7	普通教室鍵の追加・補修	【安全】※継続要望 普通教室扉の施錠ができない。不審者等が侵入した際に教室内から施錠ができるよう改修を要望したい。(廊下側からは、マスターキーで開錠できるように取付希望)	既存マスター対応不可のため 代替方法検討
8	避難器具の地面側 フックカバー再設置	【安全】【機能回復】※継続要望 西校舎3階ベランダ設置の避難器具を使用する際の、地面側のフック固定部分のカバーがなく土で埋もれている場所があり、カバーの再設置を要望する。(3枚)	R4実施 (補助事業)
9	体育館付近フェンス補修	【安全】【機能回復】※継続要望 体育館付近のフェンスが破損している。児童の怪我・事故防止のため補修を要望する。	全体優先順位 により見送り
10	プール濾過機メンテナンス (濾過機内のごみの撤去及び 部品交換)	【機能回復】【既存不適合】※継続要望 濾過機が非常に古く、濾過機内に溜まったゴミの清掃、経年劣化部品交換も含めたメンテナンスをお願いしたい。(錆によるモーター内の張り付きがあり、運転開始時に無理矢理に動かしてもらっている状況。)	大規模改修案件
11	体育館入口 スロープ設置	【安全】【利便性向上】※継続要望 体育館外部入口に車いすでの入場ができるよう、スロープの設置を要望する。 (例年であれば学習発表会等の際、福祉施設等の車いす使用入所者を招待している。)	全体優先順位 により見送り
12	インターホンの全教室設置	【安全】【利便性向上】※継続要望 不審者侵入等の緊急時対応のため、全教室にインターホンの設置を希望。かつては各学年1組の教室に設置されていたが、教室配置は学年のクラス数などに応じて変更されるため、偏りがある状況である。	全体優先順位 により見送り

【③鶯飼小学校】

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
13	集会室「はやちね」暖房配管設置	【利便性】※継続要望 集会室「はやちね」の暖房のみ、灯油配管がなく、配管を要望する。(ポリ缶で運んでいる。)	全体優先順位により見送り
14	体育館側駐車場整備(砂利補充)	【利便性】※継続要望 雨が降ると水たまりができ、駐車できるスペースがなくなってしまうため、砂利を敷き詰めることで駐車スペースが確保できる。	全体優先順位により見送り
15	校門前歩道 縁石の一部撤去 校門拡張及びスロープ幅拡張	【安全】【利便性】※継続要望 校外活動で大型バスを利用する場合、校門の幅がせまく、バスが駐車場に入る際、タイヤが歩道の縁石に乗り上げ危険がある。縁石の一部の撤去をお願いしたい。また、校門から駐車場までのスロープが大変狭く、出入りする自動車の対面通行が困難なため、校門の拡張及びスロープ幅の拡張を要望する。	R4実施 (道路課対応)
16	特別・普通教室 戸車交換 クッションゴム取替補修	【機能回復】【利便性向上】※継続要望 特別・普通教室戸の開閉が渋いため、戸車の交換をお願いしたい。また、戸のクッションゴムも破損しているため、交換をお願いしたい。 (校舎建築工事に付帯した設備のためメーカーがわかりません)	R4実施 要継続

【⑬一本木小学校】

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
1	床材の張替え	放送室カーペットとねまり場畳からダニが検出された。ダニ駆除のスプレーをして対応しているが、十分ではない。クッションフロア等清潔なものに張り替えてほしい。	全体優先順位により見送り
2	体育館横非常階段	体育館内から校庭に出る階段。老朽化が激しくコンクリートが砕け落ちている。運動会等では用具の搬入やトイレ使用などで地域の方々も利用する。また、非常時の避難経路になっており、特に低学年児童には使用困難である。高低差が激しく急な階段であるため、安全に使用できるようにしてほしい。	R5一部実施予定 大規模改修案件
3	校庭外放送	校庭にある2つのスピーカーからチャイム等放送が聞こえない。避難指示などの放送も聞こえないことになる。	R7実施予定 (補助事業)
4	排煙装置	窓を開くためのボタンを押しても、開かない窓が多い。	R4実施
5	屋外非常階段	老朽化しており、一部コンクリートが崩れ落ちている。	R4実施
6	木の伐採	プールまでの渡り廊下の屋根に、松の木がもたれかかり食い込んでいる。太く大きな木であり、柔らかい土地に斜めに生えているので、風の強い日はギンギンと音が聞こえる。屋根が変形、崩壊しそうである。	R4実施 (補助事業)
7	体育館・屋外トイレの洋式化	すべて和式で老朽化している。行事等で地域の方々も使用するので、使いやすさを考えて洋式トイレにしてほしい。	R4一部実施 (補助事業)
8	旧消防設備小屋の撤去	校庭の体育館側端に錆びた古い消防施設の小屋がある。現在使用していないし、今後も使用しないため撤去してほしい。	全体優先順位により見送り
9	プール改修(ろ過機)	老朽化しており、本体の足と集毛器の足が腐食している。新しい機械に更新してほしい。せめて、砂のろ材の交換してほしい。	大規模改修案件
10	プール改修(プールサイド)	①コンクリート製の平板がでこぼこ陥没している。補修しながら使用しているが児童がつまずいて転倒する恐れがあり危険。(プールサイドに溜まる水を排水する箇所がないため、いつまでも溜まってしまう。その水が内側に浸水しているためと思われる。) ②水飲み場の排水の蓋が抜け落ちており、穴があいているため危険。	大規模改修案件
11	プール改修(プール内の床)	プール内の床材が剥がれ危険。毎年部分的に補修していただいているが、補修部分の周りから剥がれてくることもある。全面改修が無理な場合は、次年度もプール使用前に点検、修繕をお願いしたい。	大規模改修案件
12	プール改修(トイレの床)	トイレ床は木材のため、水に弱く腐食がすすんでいる。クッションフロア等に張り替えてほしい。	大規模改修案件
13	体育館屋根塗装	塗装が剥がれている。今後腐食の進行が心配されるので、錆び止め補修と塗装をお願いしたい。体育館内に天井の塗装剤が落ちているときもある。	大規模改修案件
14	校舎屋根・壁塗装	①屋根の塗装が剥がれ、銅板の腐食が目立つ。塗装しなおし、腐食防止対策も行ってほしい。 ②壁が老朽化、さび等により剥がれ落ちている部分がある。	大規模改修案件

【⑦姥屋敷小中学校】

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
1	校庭脇通路の舗装	校庭脇を通り昇降口へ向かう通路がぬかるむため、通行の安全を確保するため舗装が必要。	体育館側からの出入りへ変更を検討
2	プールろ過機修理	故障し使用できないため。	R4実施
3	廊下、職員室の床板修繕	昨年度より要望継続	R4実施
4	小学校棟トイレの水洗化	昨年度より要望継続	R4一部実施 (補助事業) 要継続
5	理科室、音楽室のエアコン設置	教科以外の授業でも使用し利用頻度が高く、南窓により夏場の日差しが強いためエアコンが必要である。	全校共通案件

【⑪柳沢小中学校】

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
1	1F児童トイレ(女子) 水道水抜き(東)	該当箇所の水抜きモーターの不具合なのか不明だが職員室からのボタン操作ができない。	R4実施
2	図工技術室 準備室の鍵穴	室内から入る外扉・内扉で鍵穴があわない。ノコギリ等入っているので必ず施錠したいので早急の修繕を希望。ケガの恐れがある。	R4実施
3	総合防災盤での時計調整 部分の修理・交換	停電等発生後の時計調整が難しい。電波時計ではないので手動で時間計算しながら調整するが、ピッタリ合うことなく最終手段で主電源を切って調整するしかない。	R4実施
4	技術室FF更新	技術室奥のFFヒーターが故障していて修理不能のため。メーカーが三菱でもうFFの部品は生産していないため。	R4実施
5	水道の水漏れ	校庭に面している水道が水漏れしている。蛇口も曲がっている。元栓で開閉しているので不便である。	全体優先順位により見送り

【⑤滝沢東小学校】

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
1	放送室放送卓の更新、及び普通教室のスピーカー増設並びに外部スピーカーの交換	放送卓(デスクアンプ)の経年劣化により、各種調整が効かなくなっていること。普通教室のスピーカーの出力が小さいうえに、途切れることが多々ある。また、外部スピーカー故障により校庭側、プール側に聞こえない。普通教室のスピーカーが時計と一緒に壊れており出力が小さいこと。コスモ通信によるとアンプの電源がコントロールされず常に通電状態にあるということ。	R6実施予定 (補助事業)
2	職員女子トイレの便器修理、または交換	職員女子トイレの和式便器にひびが入り、水が漏れるため現在使用できない。修理または、交換が必要である。	R4実施 (補助事業)
3	蛍光灯照明機器の交換	創立してから20年がたち、蛍光灯照明機器の故障が多くなってきている。今後学校予算で賄いきれないくらいの多くの故障が見込まれ学業等に支障をきたすため、交換をお願いしたい。なお、今後の維持コストを考え、LED対応のものにしてほしい。(1, 2年生は昨年度交換済み)	R4実施 要継続
4	屋外照明設備	体育館渡り廊下(2階)についている外部照明は、タイマー機能があり、防犯灯を兼ねている。本校敷地内は、付近の住民が通路として利用しており、夜間は明かりが必要である。そのため現在は体育館外の入口灯をつけて代用しているが、タイマー機能がなく、一日中つけていることになる。	R4実施
5	体育館照明設備	体育館天井の照明のうち、後部南側の1つが電球を交換してもつかない。学校開放で、毎日使用しているので利用者からも要望が出ている。	R6実施予定 (補助事業)
6	体育館外側ドアの調整または修理	体育館後部南側の鉄扉の開閉がしにくい。非常口になっているのでこのままの状態ではスムーズな避難ができず危険である。	全体優先順位 により見送り
7	体育館水道の集中止水装置の故障	本校の体育館の水栓は水抜きを集中管理する装置がついているが、その制御装置が故障しているため、手で個々に水抜きを行わなければならない。体育館は学校開放でほぼ毎日様々な団体が使用しているので、手動での水抜きが徹底されず凍結の恐れがある。	全体優先順位 により見送り
8	体育館玄関外壁の剥落	玄関との接合部の壁が風雨や雪により、はがれてきているので、大きくなる前に対応をお願いしたい。	大規模改修案件
9	3階バルコニーの雨水排水管の漏れ	接合部の腐食等により、水漏れしている。	大規模改修案件
10	プールサイド、 プール底の補修	ぼろぼろと粒状にはがれが進んでおり、プール内に沈殿するので不衛生である。また、擦れると怪我の元となる。また、プールの底に水が侵入しているので合わせて補修をお願いしたい。	R4一部実施 要継続
11	時計台の塗装	さびの発生が激しい。学校のシンボリックな時計台であり、美観を損ねている	大規模改修案件
12	フェンス修理 バックネット修理	校舎西側(駐車場) は大きく傾いている。 校舎東側(岩大演習林)は支柱の基礎が現れ危険である。(ロープを張り近寄らないようにしている)また、校庭のバックネットが剥がれ落ちそうになっており、危険な箇所があるため併せて修理をお願いしたい。	R4一部実施 要継続
13	網戸の補修	網戸(金属網)の痛みがはげしいので、張替えをお願いしたい。周囲を森や畑に囲まれている環境であり、網戸の有用性は認識しているので、撤去ではなく修理を要望する。	全体優先順位 により見送り
14	側溝修理	舗装している道路(通路)と駐車場との境界となっている側溝の段差が年ごとに大きくなっており危険なので、可能であるならば修繕をお願いしたい。	大規模改修案件
15	体育館前の灯油タンクの移設	体育館前の灯油タンクは体育館のシャワーのためにつけられたものであるが、今利用がない。このタンクを職員室前に移設することにより、職員室内の暖房機器への給油がなくなるため、利便性が高まる。	全体優先順位 により見送り

【⑩滝沢中央小学校】

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
1	(校庭)鉄棒下地面陥没	鉄棒下地面が陥没し、落下時の衝撃や、踏切り時にすべりやすい、など危険な状況である。地面にフィット感のあるマットを敷くことにより、安全性を高め、事故防止を図りたい。	経過観察 (改善傾向)
2	(校庭)トイレ設置	未整備のため (校庭施設開放では体育館トイレを使用している)	全体優先順位により見送り
3	(体育館キャットウォーク)階段設置	脚立を使い、窓やカーテンを開閉しているが、学校開放も含め頻繁に使用する機会があるため危険である。	脚立以外の備品対応を検討
4	(相談室)間仕切り壁撤去	相談室4、相談室5の間仕切り壁を撤去し、少人数学習室等として使用したい。	竣工から間もないため不可

【②滝沢南中学校】

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
1	プール改修	プール本体の改修を要する 配管からの水漏れや水槽の亀裂があり全体的な改修の必要がある	R4一部実施 大規模改修案件
2	校地内フェンスの改修	経年劣化のため、フェンスがめくれあがっている状態	大規模改修案件
3	南校舎温水器の故障	修理ができなのであれば、撤去してほしい	R4実施
4	体育館改修	雨漏りや床ゆかの剥がれなど、改修が必要な状態である	大規模改修案件
5	スライド黒板 洗い状態 普通教室のドア 腐食等により戸車が外れる	各種特別教室の老朽化(主に南校舎)に改修または修理をお願いしたい	全体優先順位 により見送り
6	第一音楽室ドアの交換	各種特別教室の老朽化(主に南校舎)に改修または修理をお願いしたい	R4実施
7	第二音楽室のスライド黒板 洗い状態	各種特別教室の老朽化(主に南校舎)に改修または修理をお願いしたい	R4実施
8	消火器ボックスの老朽化	経年劣化のため、消火器の保管には適していない	R4実施
9	印刷室 水落スイッチ電磁弁	故障により動作不良がある	R4実施
10	第一理科室の水落元栓	老朽化により、水道管内の除水ができず、冬季間も常時暖房を使用している 状況	R4実施
11	第二技術室蛍光灯安定器	安定器の廃番や蛍光灯の廃番に伴い、LED化の希望	R5実施予定 (補助事業)
12	美術室 蛍光灯安定器 暖房機の修理	安定器の廃番や蛍光灯の廃番に伴い、LED化の希望	R4一部実施 R5実施予定 (補助事業)
13	校地内ブロック等の産業廃棄物	危険であるため、撤去をお願いしたい	全体優先順位 により見送り
14	南校舎 エアコン室外機への落雪	屋根を設置するなどの措置をお願いしたい	全体優先順位 により見送り

【⑥滝沢第二中学校】

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
1	非常階段の屋根の腐食	屋根の腐食が進み、落下等の心配もあるので修繕してほしい。	R4一部実施 R5実施予定
2	プール機械室設備の改修	プール機械室と更衣室の小屋がかなり老朽化しており、昨年10月の台風の際にもタンがはがれ、応急処置でしのいでいる。更に、プールにトイレの設備もない。ろ過装置も老朽化して性能が衰えており、モーターや配管から水漏れがあるため、毎年業者に頼んで応急対策でしのいでいる。不衛生なうえに危険な状態なので、プール機械室と更衣室の建て直し、トイレの新設、ろ過機の更新を要望する。	大規模改修案件
3	プールサイドの改修	昭和50年代から使用しているが老朽化が著しく、プールサイドに敷き詰められた厚いコンクリートのタイルの間から土が出ており、すき間から雑草が生えてきたり、タイルがでこぼこして足が怪我する恐れがある。	大規模改修案件
4	駐輪場外灯設備新設	生徒の自転車置き場は、10月以降は下校時に暗くなり大変危険である。現在は反応式のLEDライトを数台設置し対応しているが暗くて不十分なため、常灯のものがよかった方がよい。(現在設置されている外灯は点灯しない状態が長く続いており、補修は無理と以前言われているので、今あるものを撤去し、常灯のものを新設したい)	R4実施
5	瀧武館窓の開閉器の不調	開閉ができないところが1カ所と、レバーが収納されない箇所を修繕してほしい。	R4実施
6	体育館フロア入り口の雨漏り	強い雨や長い雨の際に雨漏りがするので、修繕してほしい。(両方の入り口)	R3一部実施 要継続
7	3階音楽室の雨漏り	強い雨や長い雨の際に雨漏りがするので、修繕してほしい。	R4実施 大規模改修案件
8	野球バックネットの接続部分の腐食	野球バックネットの接続部分が金属の腐食が進んでいるので、修理したい。	全体優先順位 により見送り
9	ソフトボールネット支柱の傾き	ソフトボールバックネットの支柱のうち、中央2本が傾いている。	R4実施
10	照明器具の全体的な更新	照明が経年劣化による安定器の故障により、点灯しない箇所が増えている。蛍光管の在庫も減ってきており、LED照明への全体的な更新をお願いしたい。	R4実施 R5実施予定 (補助事業)
11	フェンス支柱の腐食	校地外周のフェンス支柱が腐食し、折れている箇所もあるので、修繕が必要。	全体優先順位 により見送り
12	スロープの新設	現在、本校には校舎内に入るためのスロープがない。バリアフリーの観点から、早急に設置が必要である。校舎や体育館に車椅子で入れるように、スロープと手すりを新設したい。	全体優先順位 により見送り
13	体育館窓の網戸設置	現在は2か所しか網戸がついていない。夏季の夜間開放で窓を全開するため多量の虫が入り、日中の授業や部活での使用に差し支える。体育館窓への全面的な網戸設置が必要である。(2か所→10か所)	全体優先順位 により見送り
14	体育館屋根の塗装	部分的に錆びていて、いつ雨漏りしてもおかしくない状態である。	大規模改修案件

【⑥滝沢第二中学校】

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
15	職員玄関のフローリング化	基本的にカーペットはダニが発生しやすく、アレルギーの生徒が多くなってきている中、不適である。	R4実施 (用務員対応)
16	1階音楽室のフローリング化	エアコンと掃除機で対応しているが、基本的にカーペットはダニが発生しやすく、アレルギーの生徒が多くなってきている中、不適である。(吹奏楽部も使用しており、唾液も落ち不衛生である。)	全体優先順位 により見送り
17	インターホンの交換	保健室へ行く生徒の把握や連絡等に必要である。	全体優先順位 により見送り
18	体育館ステージのスクリーン常設設置	現在スクリーンはあるものの、使用する際に吊り下げる方式で不便である。現存のスクリーン自体が重いので、ワイヤーでバーに吊り下げると落下の危険性がある。スクリーンを常設で設置すると、使用しないときは巻き上げ必要な時に引き出すことができ、大変便利で安全に使用できようになる。(年間で5~6回使用)	全体優先順位 により見送り
19	自転車小屋の塗装	屋根や支柱のさびが多くみられる。傷みが進んでおり、生徒が手を触れる部分も安全でないため、全面的に塗装したい。	全体優先順位 により見送り
20	敷地舗装	保健室前から校舎裏のピロティ周りが砂利敷きで、雨が降るとぬかるみになる。駐車場としても利用するので、舗装してほしい。	全体優先順位 により見送り
21	職員室等のドアの修理または交換	各部屋ドアの両側のゴムが劣化して破損している。また、年数が経って歪みが生じてきているため、施錠する際に錠前部分と鍵に余計な力がかかり、鍵の亀裂や破損が増えてきている。	R4実施 (用務員対応)
22	西渡り廊下外天井の穴	穴が開いたままの状態なので修繕してほしい。(外の高い位置のため、場所的に用務員による補修は難しい)	R3実施 (用務員対応)
23	校舎裏(ピロティ横の土のど)に外灯設置	校舎の西側に外灯が設置されておらず、日暮れが早い時期や夜に駐車場に向かう際に暗くて足もとが見えず危険である。	全体優先順位 により見送り
24	体育館ステージ緞帳の修繕	破れた状態であり、放置することで破損状況が悪化すると考えられる。	全体優先順位 により見送り

【⑫一本木中学校】

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
1	校舎非常階段壁 亀裂・壁材剥がれ修繕	校舎裏側の非常階段(1階～2階の途中部分)の壁に、亀裂並びに壁材の剥がれがあり、耐震構造的に問題ないか不安である。災害時の避難経路にもなっていることから、安全面からも心配される。	R4実施
2	校舎・体育館軒下天井部 壁材剥がれ修繕	経年劣化のためか、軒下天井部分の壁材が広範囲にわたって剥がれ落ちている。体育館南側非常口付近と校舎職員室外付近が顕著である。	大規模改修案件
3	プール建屋 壁材剥がれ修繕	経年劣化のためか、プール建屋の内側壁材が剥がれ落ちている。堅い材質であり、水泳授業時に生徒が怪我をすることも心配される。	大規模改修案件
4	体育館玄関天井 雨漏り修繕	台風だけでなく、梅雨や秋雨のような数日続く長雨により雨漏りが発生する。部活動や学校開放等、生徒が移動する際の転倒・怪我が心配される。	大規模改修案件
5	体育館男子トイレ天井 雨漏り修繕	台風だけでなく、梅雨や秋雨のような数日続く長雨により雨漏りが発生する。日当たりが悪いため湿気がひどく、衛生的にも心配である。	R4実施
6	体育館南側壁亀裂修繕	体育館南側の壁の一部に亀裂があり、耐震構造的に問題ないか不安である。	大規模改修案件

【⑨滝沢中学校】

令和4年度 施設設備修繕等要望表

学校希望順位	件名	故障、要補修概要、改造等要望内容	対応状況
1	3F廊下のコンセント通電不良 【写真1～2】	3階ホール内・3階教室前廊下のコンセントが通電不良で、合唱のパート練習時のCDデッキの接続や、黒板消しクリーナーが近くで使用できず困っている。修繕をお願いしたい。	R4実施
2	体育館・渡り廊下のつなぎ目 破損部分雨漏りによる腐食 【写真3～4】	昨年度雨漏りの修繕をしていただいた。しかし雨漏りは改善していない。雨漏りのため①カウンセリングルームの天井のカビ、②カウンセリングルーム前階段踊り場天井のカビ、③体育館更衣室・トイレ・管理室前天井のカビの撤去あるいは、天井の修繕をお願いしたい。アレルギーを持っている生徒等は反応がでることがあり、健康被害が心配である。	R4実施 要継続
3	プールサイドのプラスチック タイル修理 【写真5～6】	プールサイドに敷き詰められているプラスチックタイルが劣化し、剥がれやすくなっている。裸足時の怪我が心配される。また風でプールの中に入ってしまうこともあり衛生上も好ましくない。修繕をお願いしたい。	大規模改修案件
4	体育館玄関前の屋根腐食 (軒先) 【写真7】	腐食が広範囲に及んでいる。特に玄関屋根(軒先)の腐食が進行し、穴が開いたり一部はすでに落下している。落下物が生徒や学校施設開放利用者を直撃する可能性もあり大変危険な状態であるため、早急な修繕が必要である。	大規模改修案件
5	体育館外壁 【写真8】	外壁の材質の異なるつなぎ目が破損し、剥がれ落ちそうになっている。落下物が生徒や学校施設開放利用者、駐車中の車両を直撃する可能性があり、危険な状態であるため、早急な修繕が必要である。	大規模改修案件
6	体育館玄関前のタイルのはがれ 【写真9】	たたきのタイルの剥がれが目立ってきており、冬期は凍結により悪化が進行した。放置すればさらに広範囲に剥がれ、つまずきや怪我が心配される。	R3実施
7	校庭に降りる階段の補修 【写真10】	校舎前の駐車場から校庭に降りる階段のステップ部分のタイルが剥がれている。階段の勾配も急であり、剥がれ部分での転倒事故が心配である。昨年の状態よりも悪化しており、補修が必要である。	全体優先順位 により見送り
8	監視カメラの不良	本校には、監視カメラが8台あるが、そのうち2台が写らない状態である。防犯にも影響するため早急な修繕が必要である。	R4実施
9	生徒玄関鍵の交換 【写真11】	生徒玄関は3か所出入りできる。昨年度亀裂の入った中央部分の鍵は直していただいたが、その他2カ所についても亀裂はないが変形が見られ、今後使用できなくなるおそれがある。交換をお願いしたい。3か所とも鍵が異なるため同じ鍵にしていきたい。	R4実施
10	校門脇の下水路を塞ぐための金網等の設置【写真12】	校門を入ってすぐの下水路の金網が短いため、保護者が駐車した際に脱輪事故が昨年度あった。今後も同様の事例があることが予想され、ぜひ金網の設置をお願いしたい。	R4実施 (用務員対応)

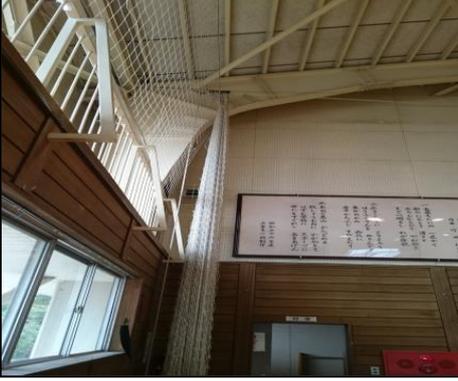
令和4年度 施設設備修繕等要望表(写真)

番号	件名	写真	
1	北昇降口階段の修繕	 	 
2	校庭への階段の修繕	 	
3	水道配管ヒーターの設置		
4	南校舎2階ホール天井の雨漏り修繕	 	

【滝沢第二小学校】

<p>5</p>	<p>校舎周りの舗装</p>	 	
<p>6</p>	<p>校庭から学校前市道への道路の舗装又は、砂利入れ</p>	 	 
<p>7</p>	<p>給食室前の給食車が着く外の床修繕</p>		
<p>8</p>	<p>外マンホールの周りの修繕</p>		

【滝沢第二小学校】

9	南昇降口児童下駄箱の改修		
10	南昇降口床の修繕		
11	体育館ステージ側ネットの修繕		
12	体育館横プレハブ小屋の改修	  	
13	プール周りの塩ビ波板等の取り替え	  	
14	渡り廊下のシャッターを壁に改修	 	

【滝沢第二小学校】

15	児童昇降口入口の上側部分の塗装		
16	鉄棒の移設		
17	昇降口、玄関前の側溝の修繕		
18	校庭の側溝の修繕		
19	校庭砂場の枠の修繕		
20	体育館前の校庭へののり面の整備 (地盤沈下と斜面の崩れ)		

【滝沢第二小学校】

<p>21</p>	<p>用務員室の外に水道設置</p>		
<p>22</p>	<p>校庭西側にフェンス設置</p>		
<p>23</p>	<p>掲揚塔</p>		
<p>24</p>	<p>階段横</p>		